

群青

仙台市立第一中学校

第2学年だより

第10号 2023.6.30

二十四節気「小暑（しょうしょ）」7/7～7/22頃

小暑とは、梅雨が明け、暑さが本格的になる頃です。蝉も鳴き始め、暑中見舞いを出すのもこの頃です。暑い夏を乗り切るために、たくさん食べ、体力をつけておきたいところです。



七十二候

・温風至（あつかぜいたる）7/7～7/11頃

雲間から注ぐ陽がだんだんと強くなる頃。温風とは、湿った空気が山を越え、乾いた暖かい風となって吹き降ろすフェーン現象のことを表しているとも言われています。

・蓮始開（はすはじめてひらく）7/12～7/16頃

蓮がゆっくりと蕾をほどき、花を咲かせる頃。水底から茎を伸ばし、水面に葉を浮かべ、きれいな花を咲かせる蓮ですが、花が開いてから四日目には散ってしまいます。

・鷹乃学習（たかすなわちわざをならう）7/17～7/22頃

5、6月に孵化した雛が巣立ちの準備をする頃。独り立ちができるよう飛び方を覚え、獲物の捕り方を覚え、やがては「独り」で自立していきます。

日	曜	朝読	I	II	III	IV	V	VI	給食	部活動	行 事 等
1	土										県通信陸上
2	日										県通信陸上
3	月	○	1	2	3	4	水5	学活	○	○	安全点検日 合唱事前指導
4	火	—	校内合唱コンクール				8:35	集合	弁当	—	
5	水	○	学活	水2	コンサート	5	6		○	○	[新時間割スタート]
6	木	○	1	2	3	4	5	総合	○	○	
7	金	○	1	2	3	4	5	6	○	○	専門委員会
8	土										
9	日										
10	月	○	1	2	3	4	水6	学活	○	○	夏休み前清掃強化期間(~19日)
11	火	○	1	2	3	4	5	総合	○	○	中央委員会 善導地区巡視
12	水	○	1	2	3	道徳	5	6	○	○	3年ファイナンスパーク
13	木	○	1	2	3	4	5	総合	○	○	3年ファイナンスパーク
14	金	○	2	3	4	5	6	—	○	○	職員会議 善導パトロール
15	土										
16	日										[海の日]
17	月										
18	火	○	1	2	3	4	5	総合	○	○	
19	水	○	1	2	3	道徳	5	6	○	○	
20	木	○	1	2	3	4	集会	学活	○	○	全校集会, 激励会
21	金									○	夏季休業~8/19
22	土										県中総体①
23	日										県中総体②
24	月										県中総体③
25	火										県中総体④
26	水										三者面談① 職員研修会
27	木										三者面談②
28	金										職員研修日
29	土										
30	日										
31	月										三者面談③

8月の行事予定

三者面談～7日(月) 5日(土)吹奏楽コンクール県大会 8日(火)職員研修日
 9日(水)～16日(水)日直を置かない日 19日(土)合唱Nコン県大会 22日(火)～授業開始
 25日(金)全校集会, 県大会・コンクール報告会, 教育相談 26日(土)吹奏楽コンクール東北大会
 27日(日)全日本合唱コンクール県大会 30日(水)学文会リハ① 31日(木)市駅伝大会, 学文会リハ②

『めざせ全員Happy Smile 一中の挨拶は日本一』 「あいさつ運動」の横断幕作りが進んでいます



学年委員主導で、「青」学年の横断幕作りが進んでいます。

スローガン、デザインの募集、選定をすべて学年委員が行い、先日から布に描く段階に入りました。

学年委員の声かけに多くの生徒が集い、和気あいあいと制作に励んでいます。完成後は、あいさつ運動の際に活用します。また、廊下などに掲示し、一中のあいさつの機運をさらに高めていきたいと思ひます。学年委員の活動がとても活発です。

校内合唱コンクールが来週に迫ってきました

昨日、体育館で合唱コンクールのリハーサルを行いました。(画像を掲載しようと思ひていましたが、撮影を失念しました。申し訳ありません)

昨年度よりも、曲の難易度が上がり心配していましたが、どの学級も立派に仕上げているという印象を持ちました。技術的にはまだまだ伸びしろがあると思ひますが、子どもたちの表現力の高さに驚きました。学年が進むということ、演奏の厚みが増すとはこういうことかと思ひました。いろいろな経験を通し、内面的に着実に成長していることを実感したりハーサルでした。

本番は来週の火曜日、全校生一同に会しての実施は4年ぶりです。保護者の皆様のご来場をお待ちしています。

先人のことば

一日生きることは、一歩進むことでありたい。

湯川秀樹(日本の物理学者 日本初のノーベル賞受賞者)

